



三浦半島地域連合 news

発行日 2026 年 9 月 1 日 第 115 号

発行 三浦半島地域連合

TEL:046-821-0005 Fax:046-821-3705

〒238-0006 横須賀市日の出町 1 丁目 5 番地ヴェルクよこすか 3 階

発行責任者:磯部 正見 編集責任者:椿 亮

逗子駅にて連合神奈川ピースウィーク開催!核兵器廃絶・平和を訴える!

三浦半島地域連合は地域に『顔の見える活動』として、毎月街頭活動を行っています。今月は、8月5日(水)18時よりJR逗子駅前にて、上部団体の連合神奈川より指示があったピースウィーク街頭行動を行いました。



ピースウィークとは、8月6日(広島への原爆投下の日)と、8月9日(長崎への原爆投下の日)を軸としたゾーンを「ピースウィーク」と設定して県内各地で平和について街頭行動を行うことです。

今回は、逗子市桐ケ谷市長、葉山町山梨町長、三浦半島地域連合議員団(高野たけし・はっとり誠 逗子市議会議員、まちでら真司葉山町議会議員)、連合神奈川萩原副事務局長、

参議院議員牧山ひろえ秘書を含む23名の方々に参加いただきました。

広島と長崎に原爆が投下され81年が過ぎました。現在もおおよそ12,000発の以上の核兵器が地球上に存在しています。世界情勢は、ロシア・ウクライナ・イラン・アメリカ・ガザ地区など紛争は絶え間なく続いている状態です。桐ケ谷市長や山梨町長、萩原副事務局長をはじめとする議員さんが平和について訴える中、ピースウィークのチラシが入ったティッシュ2,000セット及びうちわを、約1時間配付をしました。

「連合の日ピースウィーク」の取り組みを機に、職場の仲間や家族と平和の尊さについて語り合ってみませんか。



2026三浦半島統一メーデーにて集めたタオルを、児童施設・障がい者施設などに寄贈!

7月6日(月)に、メーデーなどで集めたタオル1本運動のタオルを「葉山幸保愛児園」「鎌倉児童ホーム」へ寄贈しました。タオル1本運動とは、タオルでつなぐ支え合いの輪として労働組合やメーデー会場にて未使用のタオルを集め福祉施設へ届ける運動です。今年も加盟組織の皆さんのご協力により300本を超えるタオルが集まりました。今回は、外川労福協会長とともに2施設を訪れ、連合の日の際に、雨天により配れなかったポケットティッシュや住友重機械労働組合横須賀地方本部より頂いたポケットティッシュとともに届けました。両施設ともに、「消耗品の寄贈は大変助かります。ありがとうございます。」との声を頂きました。この他にも、障がい者福祉センターはやぶさ工房やファミリーホームともしびなどへも寄贈しています。今後も、この運動は継続して取り組んでいきたいと思いますので、ご協力の程よろしくをお願いいたします。



【左】葉山幸保愛児園



【右】鎌倉児童ホーム

労働者の問題・課題について意見交換を行う!

労働センター意見交換会 7月8日(水) 17時30分より、ヴェルクよこすか第6会議室にて、かながわ労働センターとの意見交換会を実施しました。かながわ労働センターは、労働に関する労使間のトラブルなどの解決に向け労働相談を行ったり、労働講座やセミナーを実施したりしている県の機関です。



この意見交換会は、年に1回労働を取り巻く環境について行政と労働団体が諸課題について意見交換を行うことで、共通認識を持ち労働環境の改善につなげるために実施しています。今回も、県の労働組合基礎調査の結果や相談窓口での状況などを報告いただき相談の傾向や内容について話し合いを行いました。今回の意見交換を通じて、地域連合としても安心して働ける職場環境や健全な労使関係の構築に向け今後何ができるのか考えていきます。

より良い政策制度要求と提言を目指して。

8月21日(金) 18時より、ヴェルクよこすか 第5会議室にて2027年度のに向けた政策制度要求と提言について、三浦半島地域連合議員団と意見交換会を開催しました。

本意見交換会は、地域で働く労働者の生活向上および持続可能な地域社会の実現を目指し、2027年度に向けた重点政策や制度改革の課題を共有・議論するために設定されました。事前に加盟組織に意見収集した提言に対して議員団より多角的な視点から助言を頂きました。

